

第 77 回国民体育大会の概要

国民体育大会とは

- 昭和 21 年、京都府を中心とした京阪神地方で開始。都道府県持ち回りで毎年開催され、都道府県対抗で競技を実施する。
- 「東（北海道・東北・関東）」、「中（北信越・東海・近畿）」、「西（中国・四国・九州）」の 3 地区の輪番制で開催。昭和 63 年第 43 回大会（京都）から二巡目。
- 法令「スポーツ基本法（平成 23 年 8 月 24 日施行）」に基づき推進される国内最大の国民スポーツの祭典。
- 「本大会」と「冬季大会」に分かれる。本県は、「本大会」を実施する。

1 主催

大会 （公財）日本体育協会、文部科学省、栃木県
競技会 （公財）日本体育協会加盟競技団体、会場地市町村

2 開催期間

平成 34 年 9 月中旬～10 月中旬（このうちの 11 日間以内）
※会期は開催 3 年前（平成 31 年）に日体協と開催県が協議して決定

3 実施競技（第 74 回大会～第 77 回大会までの実施予定競技）

（1）正式競技（37 競技）

【毎年実施競技（36 競技）】

陸上競技 水泳 サッカー テニス ボート ホッケー ボクシング バレーボール 体操
バスケットボール レスリング セーリング ウエイトリフティング ハンドボール 自転車
ソフトテニス 卓球 軟式野球 相撲 馬術 フェンシング 柔道 ソフトボール バドミントン
弓道 ライフル射撃 剣道 ラグビーフットボール 山岳 カヌー アーチェリー 空手道 なぎなた
ボウリング ゴルフ トライアスロン

【隔年実施競技（2 競技）】

銃剣道 クレー射撃（第 77 回大会では銃剣道を実施予定）

（2）特別競技

高等学校野球

（3）公開競技（5 競技）

①綱引 ②ゲートボール ③パワーリフティング ④グラウンド・ゴルフ ⑤武術太極拳

（4）デモンストラションスポーツ

（先催県例）ダンススポーツ、少林寺拳法、ドッジボール 他

※開催県体協加盟団体が実施、または、開催県の特徴を生かしたもの等

4 新たに導入が検討されている追加競技・種目・種別

（国民体育大会における 2020 オリンピック対策・実行計画〔日本体育協会〕に基づく）

競技	種目	種別
水泳	水球	女子
	オープンウォーター	男子・女子
ボクシング		女子
バレーボール	ビーチバレー	男子・女子
体操	トランポリン	男子・女子
レスリング		女子
ウエイトリフティング		女子
自転車	トラック・ロード	女子
ラグビーフットボール	7 人制	女子
トライアスロン		男子・女子

※導入の決定時期：開催 3 年前までに日本体育協会と開催県が協議して決定

5 参加予定人数

- 先催県の実績から総数約 22,000～23,000 人（選手・監督・役員）を想定

65回 千葉	66回 山口	67回 岐阜	68回 東京	69回 長崎	70回 和歌山
22,550人	22,389人	22,524人	22,592人	22,432人	22,493人

6 文化プログラム

- スポーツ芸術及び郷土文化の普及啓発を目的とする。
開催県と特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会で組織される「国体文化プログラム実行委員会」が主管、運営する。会場地市町村を主催者に含めることができる。

【参考】 第 22 回全国障害者スポーツ大会

- 国体終了後、第 22 回全国障害者スポーツ大会を開催予定。
【主催】 文部科学省、(公財) 日本障がい者スポーツ協会、栃木県、会場地市町村 等

会場地市町村 配置図（第5次選定まで）

